

広島空港
ロータリークラブ
2025-26

2025-26年度 RI会長メッセージ

よいことの
ために
手を取りあおう



Weekly Report

Hiroshima Kuko Rotary Club

2025年8月20日発行



会 長 川本 吉則
副会長 三好 敏之
幹 事 佐々木正親
SAA 河井 一朗

事務局 三原市本郷南6丁目3-26 三原臨空商工会2F
T E L 0848-86-0986 F A X 0848-86-0992
E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル(TEL 0848-60-8111)

2710地区 土肥慎二郎ガバナー 信条

Enjoy Rotary～思いやりと奉仕の心で～

本日のプログラム(8月20日)

国際ロータリー2710地区 土肥 慎二郎ガバナー
「公式訪問」

次回のプログラム(8月30日)

親睦委員会
「納涼例会」

第1344回 2025年8月6日 例会記録

点 鐘 川本会長
ロータリーソング「四つのテスト」

出席報告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (8/6)	28 2	22		4 2	84.62
メイク					

食事時間



- ・先付 玉蜀黍豆腐 旨出し
- ・造り 鯉のタタキ
- ・揚げ物 チキンカツ
サラダ
- ・御飯 白御飯 香の物一色
- ・汁物 一口茶そば
- ・コーヒー

会長ひと言



今日も暑いですね。

80年前の8月6日も今日のように暑かったんで
しょうか？

さて、私は原爆2世です。

そして私の家内も長崎の原爆2世です。

すなわちウチの3人の子供たちは広島・長崎ハイ
ブリット型の原爆3世です。

そんな原爆一家のお話を少しさせていただきます。

私の父親は中学校時代に広島市内で被爆しまし
た。

当時父親の母が井口の病院に癌で入院していた
ため、中区の学校から、母親の病院まで歩いて行っ
ている途中で、黒い雨にも当たったようです。

原爆により同級生も半分以上が亡くなり、原爆
投下後の3日後には母親をなくし、父親もそれなり
に大変な思いをしたと思われます。

しかしながら父親から原爆の話、戦争の話は一

度も聞いたことがありません。

「戦争は良くない!」「平和は大事だ!」などといった教育は、一切受けてきませんでした。

父の被爆した当時の話も、叔父や叔母から伝え聞いたものです。

しかしながら、原爆の日が近づきますとTVで原爆の日の特集や戦争関係のニュースがよく放送されますが、そんな番組の放送が始まると直ぐにチャンネルを変えていました。

当然、原爆の日にTVの前で黙祷する姿など見たこともありません。

やはり被爆したつらい経験があるため、原爆や戦争の事は辛いのかなと思っておりました。

そんな父親も晩年、動脈瘤や悪性リンパ腫など原爆の後遺症と思われるような病気を繰り返しさぞ辛いのだろうと思っていましたが、入院や手術の前には、ニヤリと笑いながら、「ワシは原爆手帳もつとるけー、タダじゃ!」と自慢げに話すのです。

我が父親ながら謎の人格を持つ男でした。

後日談ですが、なぜ同級生が半分以上亡くなったのにウチの父親は助かったのかが判明しました。

なんと原爆の日当日は学徒動員で建物疎開に行く予定になっていたのに朝起きたら、あまりにも天気が良くて暑そうだったので、腹が痛いと言いつつズル休みしていたそうです。

同じ寄宿舎で一緒にズル休みしていた同級生の方からお聞きしました。

8月6日はいつも、平和について考えながら、不思議な父親の事を思い出して、我がDNAを感じる一日です。

皆様も8月6日は少し、戦争、平和そして原爆について、思考を巡らせていただければ幸いです。ありがとうございました。

幹 事 報 告



【回覧】

- ・例会出欠確認表 (8/30納涼例会・9月)
- ・ロータリーの友 8月号
- ・地区大会本登録申込最終確認
- ・7-9月会費納入のお知らせ (まだの方はご確認をお願いします)

卓 話 時 間

「プレ公式訪問」



森崎ガバナー補佐

私は今年度グループ9のガバナー補佐を務めます森崎でございます。よろしくお願い致します。7月よりガバナー補佐としての任務が始まっており、7月は4クラブを挨拶回りさせて頂きました。ガバナー補佐の任務は、文字通りガバナーを補佐する役目であり、クラブとガバナーとの橋渡し役であります。

今日は第一番目のプレ公式訪問であります。これより、RI会長メッセージとガバナー方針を皆様にお伝えします。その後、クラブ協議会にて皆さんの活動状況や問題点あるいは質問事項などを聞かせて頂きます。

私達の2710地区では、ガバナー補佐は各クラブの持ち回りで決定しております。この方式だと小さいクラブでは、いつもガバナー補佐の選任が困難となります。

しかし、よく考えて下さい。大きいクラブではガバナー補佐をされていない方がまだ多く残っておられます。会員が多くて順番が回って来なかったからだと思われます。

昨年の公式訪問で、上田パストガバナーは、「ガバナー補佐になって各クラブを回るとロータリーの事が良く分かって来るし、人間として経営者として大きく成長できます。ぜひガバナー補佐をやして下さい」と言われました。

その点では、大きいクラブは勿体ないことをされていると思いませんか。

小さいクラブはガバナー補佐を2回に1回引き受けるだけで良いのではないかと思います。そうすれば、大きいクラブもガバナー補佐になるチャンスが広がって来ますし、どのクラブも本当に皆が公平ということになるのではないのでしょうか。

二度目のガバナー補佐を承った私の希望を述べさせて頂きました。

私がロータリークラブに入りましたのは、31年前、広島空港クラブが出来た時です。以前からロー

タリーにあこがれがあったので、本当にうれしかったと記憶しています。

その頃は私も若く、普段お会いできないような会社の社長さんとか、病院の院長さんなどと親しくして頂くと、なんか別の世界に足を踏み入れているようで感動したものです。

ロータリーは、人の交流を広げてくれますし、人間としての幅を大きくしてくれます。

私も年齢を重ねて75歳になりましたので、これから好きな旅行を楽しんでのんびり生きていこうと考えていました。ところが、私にガバナー補佐をもう一度という話が突然起きて、最後には承諾してしまいました。思うようにならないものです。

ここで、広島空港ロータリークラブについて、私の抱く印象をお話します。

広島空港クラブは現在会員数28名で、ここ数年は大体同様な数を維持しております。

前年度は会員増5名という素晴らしい時もありましたが、その後退会者が出て、現在の会員数になりました。しかし、このクラブの会員増強の努力や成果は、他クラブと比べても誇れるものと考えます。

最近では若い会員が数多く入会されて、にぎやかに活動しておられます。その光景を見ると、皆さんがロータリーを楽しんでおられるということが、良く伝わって来ます。

私のような高齢になりますと、一緒にやって来た仲間が体力の衰えを理由に退会されて行かれます。そうすると、どうしても寂しさを感じてしまいます。

そこに若い方達が新たに入会して活発にやっておられると、再び元気が出てきます。

皆が気軽にロータリーを楽しめるという点では、広島空港クラブは本当に良いクラブだと思います。

さて、これより国際ロータリーの話をしてします。今年度のRI会長は、フランチェスコ・アレツォ氏であり、イタリアの方で歯科医です。

RI会長メッセージとして、

「UNITE FOR GOOD」 よいことのために手を取りあおう をあげておられます。

このメッセージは、「世界中で良いことをする共通の友人と共に、手を取り合い人々に奉仕しましょう。そして仲間を増やしましょう。」とされているのです。

今年度からRI会長テーマが、RI会長メッセージになっております。毎年テーマが変わることにより方向性にぶれが生じるという反省から、3年間の継続性のある目標として行動計画を制定し、推進して行こうということになったからであります。

ここで、今年度の2710地区のガバナーについて紹介を致します。ガバナーのお名前は土肥慎二郎さんです。所属は東広島21ロータリークラブで、整形外科のお医者様です。お年は59歳と若く熱意のあふれたガバナーであります。

東広島21ロータリークラブは現在会員数21名になっているようですが、以前は会員数15～16名ぐらいのクラブでした。

土肥ガバナーは、ガバナー補佐を1回、クラブ会長を2回、クラブ幹事を6回歴任されておられます。こんな経歴の方は稀だと思います。そして、ガバナーまで引き受けられたことには、驚きと同時に尊敬の念を抱かざるを得ません。

土肥ガバナーはガバナー信条として次のように掲げておられます。

「Enjoy Rotary」 ～思いやりと奉仕の心で～
「ロータリーを知り、楽しみ、仲間を増やそう」

「Enjoy Rotary」を直訳すれば「ロータリーを楽しもう」ということですが、単に飲み食いをして楽しむという意味ではありません。

クラブ内でお互いをおもいやり、友情をはぐくみ、いろいろな形での奉仕活動を通じてロータリーを楽しみましょうと言われております。

ロータリーのことをよく知みましょう、そしてロータリーを楽しみましょう、さらにロータリーの仲間を増やしていきましょと訴えておられるのです。そして、ロータリーをもっと良く知るために、「マイロータリー」の活用を奨励しておられます。

また、ロータリーの目的は「自分の職業の中に奉仕の理念を取り入れこれを育て発展させること」であると言われております。

奉仕の理念とは「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という2つのモットーで表現されています。この二つの理念を自分の職業に取り入れて下さいと言われております。

では、「超我の奉仕」とはどういうことでしょうか。

これは自分の得になることばかり考えないで、他人のために奉仕をすべきであるという意味であります。つまり、他人のことを思いやり、他人のために尽くしましょという意味です。

もう一つのモットーの「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」はどういう意味でしょうか。

「奉仕」という言葉は、英語の「サービス」という言葉を日本語に訳したものです。「サービス」は、人の役に立つことをするという意味で、必ずしも自己犠牲を伴うものではないのです。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」とは、職業において、相手の事を思い、相手のためになる行為、つまりサービスをしていけば、長

い目で見ると、信用を増し、相手はリピート客と
なってくれます。それがビジネスの繁栄をもたら
すことになり、本人の幸福につながるという事で
す。



最後に広島空港クラブの皆様にも、来年の3月28
日(土)のIMの準備をお願い致しまして、私の卓話
を終わらせていただきます。



歓 迎

2025-26 年度 国際ロータリー第 2710 地区 グループ 9
森崎正治ガバナー補佐 プレ公式訪問

日 時：2025 年 8 月 6 日(水) 12：00-12：20 会長・幹事会
12：30-13：30 例会
13：40-14：20 クラブ協議会
14：20-14：50 会長・幹事会
場 所：広島エアポートホテル

例 会 プ ロ グ ラ ム

司 会：SAA 河井一朗

点 鐘：川本会長
国歌斉唱：「君が代」
ロータリーソング：「四つのテスト」
ガバナー補佐・ガバナー補佐随員幹事紹介：川本会長
～ 食 事 ～
委員会報告
スマイルボックス 河井 SAA
会長時間 川本会長
幹事報告 佐々木幹事
卓話時間 森崎ガバナー補佐
点 鐘 川本会長

プロフィール

ガバナー 補佐 森崎正治 (もりさき まさはる)
[所 属 ク ラ ブ] 広島空港ロータリークラブ
[生 年 月 日] 1950年5月2日
[職 業 分 類] 不動産賃貸業
[ロータリー歴] 1994 年 4 月 9 日 広島空港ロータリークラブ入会
2004-2005 年度 会長
2014-2015 年度 ガバナー補佐
2021-2022 年度 幹事
その他 役員・委員長歴任
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

ガバナー補佐幹事 澤井 一徳 (さわい かずのり)
[所 属 ク ラ ブ] 広島空港ロータリークラブ
[生 年 月 日] 1954年9月30日
[職 業 分 類] プラスチック製造業
[ロータリー歴] 2007年3月7日 広島空港ロータリークラブ入会
2010-2011年度 幹事
2014-2015年度 会長
2015-2017 年度 米山記念奨学生カウンセラー
2018-2019年度 会長
2020-2021年度 ガバナー補佐
その他 役員・委員長歴任
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

ク ラ ブ 協 議 会

司 会：佐々木幹事

1. 開会
2. 出席者確認（席次表参照）
3. 会長挨拶
4. G 9 ガバナー補佐 ご挨拶
5. 自己紹介及び活動計画
自己紹介…役職・氏名・職業分類
活動計画
S A A（河井会員）・クラブ管理運営委員会（三好委員長）
公共イメージ委員会（松下委員長）・会員増強委員会（鶴田幸彦委員長）
奉仕プロジェクト委員会（近藤委員長）・財団委員会（鶴田秀樹委員長）
公式訪問フォーラム議題
6. ガバナー補佐 講評
7. 副会長謝辞
8. 閉会

ガバナー補佐ブレ公式訪問
クラブ協議会 席次表

ガバナー補佐 高崎正治様	ガバナー補佐幹事 澤井一徳様		
会長 川本吉則	副会長 クラブ管理運営委員会 委員長 三好敏之	公共イメージ委員会 委員長 松下加美	会員増強委員会 委員長 会計 鶴田幸彦
幹事 佐々木正規	奉仕プロジェクト委員会 委員長 近藤一也	奉仕プロジェクト委員会 青少年奉仕部門リーダー 楠部 滋	財団委員長 鶴田秀樹
会長エレクト 岡田雄幸	クラブ管理運営委員会 委員長 坂本陽美 (ロータリー歴7ヵ月)		
直前会長 小島勘次			
副幹事 住田 誠			
SAA 奉仕プロジェクト委員会 委員長 河井一朗			
クラブ管理運営委員会 委員長 佐々木直子 (ロータリー歴9ヵ月)	クラブ管理運営委員会 委員 七川賢仁 (ロータリー歴9ヵ月)	クラブ管理運営委員会 委員 新田真美 (ロータリー歴7ヵ月)	

1. 例会の充実（クラブ管理運営委員会 委員長 三好敏之）

本年度のクラブ管理運営委員会の方針の中で卓話について、例年ではプログラム委員会だけで毎回卓話の内容を決めていましたが、それではプログラム委員会の負担が大きく、内容も偏ってくるので、数年前から卓話の担当を会員全員に割り振り、会員自身が卓話をするか、どなたか卓話者の紹介をお願いしてもらっています。今のところ内容も偏らず、プログラム委員会の負担も減って好評ですが、他のクラブで工夫を凝らして卓話をしているクラブがあれば教えてください。

2. 会員が参加したい親睦行事とは？

（クラブ管理運営委員会 クラブ奉仕・親睦部門リーダー 住田 誠）

当クラブでは、花見や月見・クリスマスなど、季節に応じて、親睦が目的の例会を行っています。参考にしたいので、他のクラブが行っている親睦事業で、印象に残っているものがあれば教えてください。

3. 意義ある奉仕活動とは？（奉仕プロジェクト委員会 委員長 近藤一也）

ロータリークラブの基本理念は、「奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」。

この理念は、個人の利己的な欲求を超えて、他者のために尽くすこととありますが、実践に当たっては非常に難しいものがあります。奉仕活動を行う側も、奉仕活動を受ける側も共に喜びを享受できることが基本です。

当クラブでは、会員全員に実施したいプロジェクトについて募集し、その提案主旨を聴取して奉仕プロジェクト委員会に諮り、事業対象を絞り込み1ないし2の事業について詳細な調査を実施し、並行して資金調達のための検討を実施します。自己資金を秋の本郷商工まつりでバザーの出品販売、出品物は会員からの提供、販売は県立総合技術高等学校生の支援を得て実施、同時に地区補助金の検討、補助金が得られなかった時の検討を行い、資金の調整をして、事業を一本に絞り実施する。実施できなかった事業の検討を行い、事業目的者への贈呈式、例会での挨拶（受領者）で一連の事業を終結します。

一連のプロジェクトが終了した時、プロジェクトに参加でき、多くの人々にロータリークラブの活動を広報でき、一つの事業が会員全員の力で達成できたことへの喜びを得ることです。

最期に、地区補助金申請補足資料にある2項②の支援を必要とするだけの逼迫性・急迫性の項目運用に当たって緩和、柔軟性を持って欲しいものです。

地区補助金の申請年度と実施年度が、年度をまたがる点を同一年度内にできないでしょうか？

4. 次世代を担う青少年への奉仕とは？

（奉仕プロジェクト委員会 青少年奉仕部門リーダー 楠部 滋）

日本は今後、外国人労働者の力を借りなければ国力を維持することができない状況のように思います。これらの外国出身の人々が安心して生活できるように、ロータリアンの会社の外国人青年労働者を直接支援するだけではなく、日本語教育や日本での生活を支援する日本人青少年の人材を育てること、更に国や県の行政に働きかけて、外国人労働者支援体制構築を促す活動をロータリークラブが展開する必要があるのではないのでしょうか？